

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 今年の講演会での特徴は日本の政治・

経済面での衰えを指摘する講師が多かったことです。12月最後の講演会は寺島実郎氏でしたが、講演前の雑談で最近、寺島氏が出掛けた先の講演会では参加者数が増え、聴衆の真剣味も増している感じだと。将来の見通しが見えにくい時代に多くの方が何か解を求める気持ちを高めているのかもしれませんが。講演会では戦後日本が追及してきた自動車を先導役とする工業生産モデルをこの先どう転換するかについて重要な指摘をいただきました。2月号に掲載します。

12月の新会員を紹介します。安部元祥様、和

泉運送会長の佐野譲二様です。

2月の定例講演会講師は東京財団政策研究所主席研究員の柯隆氏、石橋湛山賞受賞者の東京大学社会科学研究所教授の宇野重規氏、同じく受賞者で元時事通信社記者の西野智彦氏です。

◆中部◆ 12月は経済アナリストの市川眞一氏でした。講演では2022年の重要テーマとして、台湾問題ではあまり報道されない軍事面の動きを指摘されました。中国が開発中の潜水艦発射型弾道ミサイルは台湾海域からニューヨークやロンドンを直接射程圏に入れられるため、米・EUとも警戒しだしているとのこと。

2月の講師は東短リサーチ社長の加藤出氏と静岡県立大学特任教授の小川和久氏です。

(日暮良一)